

地域において新規参入のプロスポーツチームが成功を収める方法の研究

学生氏名 池田 陽

指導教員 那須 清吾

研究背景

日本ではプロスポーツの多様化が進む一方、新規参入チームは既存の強豪チームの存在や地域の理解不足により定着が難しい。本研究は、広島ドラゴンフライズと兵庫ストークスの成功事例を通じて、新規参入チームが地域で成功を収めるための方法を明らかにする。

研究目的

本研究は、広島ドラゴンフライズと兵庫ストークスの成功事例を分析し、既存チームが影響力を持つ地域において新規参入プロスポーツチームが定着・発展するための有効な戦略と仕組みを明らかにすることを研究目的とした。

研究方法

本研究では、先行研究の整理に加え、元兵庫ストークス関係者へのインタビュー調査、広島ドラゴンフライズに関する報道・公式資料の分析を行い、両チームの戦略を比較して成功要因を抽出した。

分析結果

兵庫ストークスと広島ドラゴンフライズの事例分析から、新規参入チームが成功するためには、地域密着型の活動を継続し、住民との信頼関係を築くことが不可欠であることが分かった。また、既存チームと競合するのではなくコラボレーションを通じてファン層を共有する戦略が有効であった。さらに、中小企業を中心としたスポンサー獲得、試合以外の体験価値の提供、地域特性や課題を戦略に取り込む姿勢が、観客動員と収益向上に大きく寄与した。

考察・結論

本研究の分析から、新規参入プロスポーツチームが地域で成功するためには、地域住民との継続的な関係構築と、既存チームとの競合ではなく協働を重視する姿勢が重要であると分かった。両チームはいずれも、中小企業や地域の企業との連携や地域イベントの活用、試合以外の体験価値の提供を通じてライト層を取り込み、地域に根付く基盤を築いた。また、地域特性や課題を戦略に取り込む柔軟性が、観客動員と収益向上に大きく寄与していた。これらの知見は、今後の新規参入チームにとって実践的な指針となると考える。